

古墳壁画の保存活用に関する当面の課題

高松塚・キトラ両古墳壁画の保存活用に関する調査研究と新施設の準備に関するこれまでの経緯と当面の課題を表1にまとめた。

表1 高松塚古墳・キトラ古墳の経緯と当面の課題

年度	高松塚古墳			キトラ古墳	
	壁画	墳丘	保存管理施設	壁画	墳丘
S47	発見	S48 現地保存方針決定→保存施設竣工			
S58				「玄武」発見	
H16	平成13年～ カビの大発生など			壁画の全面取り外し方針（第7回委員会）	
H17	方針「石室を取り出して壁画の保存修理」			↓ 取り外し作業（～H22年）	
H19	仮設修理施設へ移動	発掘調査 石室解体			
H21		墳丘仮整備工事完了			
H23					
H26	「当分の間の保存の在り方」決定（第16回検討会）				
H28	保存管理・公開施設に係る基本的方向性（第20回検討会）			壁画保存施設、古墳整備について 基本方針（第5回検討会）	
R元	壁画修理修了			保存管理施設（四神の館）開館	国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区開園
R3	保存管理公開活用施設（仮称）基本構想検討WG設置				
当面の課題	<ul style="list-style-type: none"> 壁画を墳丘に戻すための調査研究 壁画のメンテナンス 壁画材料の分析 当面の間の保存環境 	<ul style="list-style-type: none"> 発掘成果の整理活用 墳丘の整備活用 	<ul style="list-style-type: none"> 壁画・石材等の保存管理・公開 施設の設備・条件 古墳壁画の研究推進 	<ul style="list-style-type: none"> 壁画を石室内に戻すための調査研究 壁画のメンテナンス 別置壁画片の調査、今後の対応 施設内の保存環境 	<ul style="list-style-type: none"> 発掘成果の整理活用 墳丘の整備活用